

## 交換留学(派遣) 近況報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)



留学先大学:	ケント大学
留学先での所属学部・研究科:	School of Social Policy, Sociology and Social Research
留学先での在籍身分:	Short-term Student
留学期間:	2019年 09月 14日～ 2020年 06月 14日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	2年
本報告書記入日:	2019/11/9

## 1. 出発前について

1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	このプログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	その他 GSPのパムフレット
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。 学術的な目的(研究を深めるなど) 語学力の向上 プログラムの時期がちょうど良い プログラムの長さがちょうど良い かかる費用がちょうど良い 地理的な条件が良い 将来のキャリアのため(就職に役立つなど) 家族のバックグラウンドと関係がある 異文化を体験したい その他(具体的に記入)	最もよく当てはまるものから順に1~4まで順位をつけてください。(1:最も強い動機)     4 2 3 1 研究・将来のキャリアに必要な知識をつけるため
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	大学のホームページ
1-5	VISAについて VISAの種類: 申請先: 必要日数: VISA取得にかかった費用: VISA申請のために求められた書類: その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	Tier4 英国ビザ申請センター 資金能力証明書の発行願いなども含めると1か月程度 約80000円(NHS保険料も含め) CASナンバー(+念のため、資金能力証明書(英語版)と語学能力証明書) CASさえ出していれば比較的容易に申請が通るはずですが、却下された場合お金は戻ってこないの、とにかく余裕をもって準備することをお勧めします。
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	強制的なものはありません。
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。 また、現地で加入した保険があれば記入ください。	ビザ申請時にNHSに加入させられます。学研災海外付帯保険にも加入しました。
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	派遣先大学に関して・Application・Module Registration・Accommodation Placementなどが必要です。また、語学試験や奨学金の手続き、海外で使えるクレジットカードやデビットカードの作成もありました。

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	JAL
	到着空港名:	ロンドン・ヒースロー空港
	空港到着時間:	約16:00
	到着地からの移動手段:	大学手配の出迎え
	移動の所要時間・料金:	約3時間・約3000円
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	地下鉄やその他のコーチバス、列車などもあるかとは思いますが長旅後大荷物での移動であることを考えると、大学手配の直通の移動が最も良いかと思えます。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Tyler Court C
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	リストから選択してください
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	大学内	
	住居の周りの環境はhowですか。	大学の敷地内で、こじんまりとしたキャンパスの端のほうにある。通学路のような学生の通り道の近くの一階なので、カーテンを開けるのは少し恥ずかしい。
	毎日の食事はhowしていますか。	ほとんど自炊している。たまに友達と外食したりMeal Dealを購入する。
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	渡航前に見つかった。4つ出した希望のうちどれでもなかったが、概ね気に入っている。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	任意
	参加費用:	有料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	私は参加していないが、ファウンデーションコースという留学生向けの一か月程度の語学やイギリスのAcademic Environmentに慣れるための講習があるらしい。その他は、Welcome Weekに一時間程度の説明会などがあつた程度
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	到着して数日以内にRegistrationがあり、BRPや学生証をもらう。料金はかからない。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	特になし。

3. 語学力向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	ケント大学内に留学生向けのエッセイライティングのワークショップがあり、単位は出ないが毎週2時間出来得る限り参加している、無料である。ほかにもプレゼンテーションなど、さまざまなワークショップが開講されているが登録が早い者勝ちかつ参加は任意なので、興味があればとりあえず早く登録することをお勧めする。

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発前
	履修登録の方法:	International Office等の仲介
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	有り
	優先・配慮があつた場合、具体的に教えてください。	留学生だから履修できない授業が多くあつた。
	希望通りの授業が履修できましたか。	いいえ
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	特定のプログラムの生徒や現地生徒などにのみ開講されている授業は履修できなかった。
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

## 5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

## 準備段階で

準備段階は、かなりトラブルが多かった。私はieltsのスコアを高校三年次に取得していたのだが、派遣先大学にそのスコアを送った際、学期のはじまり時点で有効期限が切れていると拒否され、その後出願締め切りまでに急いでスコアを取り直さなければいけなかった。またビザ申請時に必要なieltsは英検協会主催のものではなくielts for UKVIというものでなければいけないが、派遣先大学が指定教育機関のリストに入っていたらCASさえあればビザが通るなど、かなり情報収集が難しくややこしい。入念に調べることを勧める。

履修を予定していた科目もシラバス上何も規制がないにもかかわらず、8割以上留学生であることを理由に拒否され、オフィスともめることもあった。もし特定の授業を受けることを目的として留学に行くのなら、派遣決定前に大学とコンタクトを取って、留学生に開講されているかを確認することをお勧めする。

## 生活面

物価が日本と比較して高い。また、肉類などは小分けパックがないので、自炊する場合保存や調理に慣れるまでは苦勞するかもしれない。また、フライパンや鍋は安すぎるものを買うと後でどうせ買いなおす羽目になるので、TKmaxなどでアウトレットの良いものを買うべきである。

## 学校面

Plagiarismに関してはかなり厳しいので、パラフレーズなどを学べるエッセイ講習などがあれば積極的に参加した方が良い。リーディングはかなり多い。しかし自由時間も多いため、自分で計画的に頑張れば大きく置いていかれることはない。一年生向けの授業ばかりだと、英語なのでしんどさは変わらないが、内容的にはやや物足りない可能性もある。教授にも困ったことがあったら相談できる。図書館は24時間開いていることもあるので、利用すると良いと思う。

## 人間関係

リスニングには比較的自信があったが、スラングやネイティブの会話はやはり聞き取りづらい。しかしこれは日本で準備したところで解決する問題ではないので、焦らず慣れるのを待つべきである。教授はレクチャーでははっきりと話してくれるので、あまり問題ないかと思われる。周囲との会話は、テレビやゲームのない家に育った小学生のようなもので、共通領域が少なくやや気後れすることがあると思う。特にケント大学はSOASなどと比べてアジア人留学生が少なくヨーロッパ圏や現地学生が多いので、やや孤独感を感じることもあるかと思われる。ソサエティ活動などに参加したりフラットメイトと交流したり、セミナーグループの友人を作ることを頑張ってほしい。大学構内にクラブやバーがあり、フラットによってはキッチンでEDMをながしてミラーボールを回してパーティをしている。基本飲みニケーションの文化であり、その場を通じて仲良くなる人が多い印象である。私は全く飲酒できない体質なので、肌に合わないと感じる。皆軽率にワンポイントのお酒を「ジュースの味だよ」と勧めてくるので、気を付けてほしい。

## モチベーション

私はあまり語学習得を留学の目的としておらず、どちらかといえば将来のキャリアのための知識習得、異国に慣れ生活する適応能力をつけることなどを目的としていた。これは悪いことではないと思うのだが、最近気付いたのは明確な達成具合を測る指標がないために、何となく無為に過ごしている気持ちになってしまうというデメリットがあることだ。なので語学習得も、きちんと成長を感じられるのなら大いに意義ある目的であると思う。留学というより「転校生活」のような気持ちだが、毎日授業に行き課題を出しているだけでもえらいと思うので、頑張ろうと思う。

## 4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Introduction to Reporting	Mrs. Christine Rayner	2h.	15	英語	約15人	プレゼンテーション、期末テスト、授業内テストがある
2	Introduction to East Asian Traditions	Dr. Leslie de Vries	2h.	15	英語	約30人	毎週セミナー用リーディングとAnnotated Bibliography, Term Essayの提出がある
3	Media and Meaning	Dr. Dieter Declercq	4h.	30	英語	約50人	毎週リーディング課題と、オンラインブログ課題、また期末テストがある
4							
5							
6							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

成績評価は書く授業によって決まっている。現地学生は授業の欠席が目立つが、留学生は止むをえない欠席を除いて授業への出席がTier4の規約で義務付けられている。リーディング課題などは、現地学生でもこなせていないのが見受けられる。しかしペアディスカッションなどで迷惑をかけるため、少くくは内容を把握する努力をするべきである。

## 4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		起床			起床	ロンドンの友達の家	土曜日とおなじく
9:00	起床	朝ごはん	起床	起床	朝ごはん	家に滞在	
10:00	朝ごはん	授業	朝ごはん	図書館で調べ物	授業	したり、街を探索	
11:00	授業	昼ごはん	授業	調べ物など	授業	たり、掃除	
12:00	授業	午後のセミナー	授業	昼ごはん	昼ごはん	たり、掃除	
13:00	授業	予習	授業	エッセイ	課題や昼寝	たり、掃除	
14:00	昼ごはん	授業	昼ごはん	のワーク	寝	除や食事	
15:00	課題や昼寝	授業	課題や昼寝	のワーク	買い物	の作り置き	
16:00	寝	晩御飯の準備	寝	ショップ	買い物	き、課題	
17:00	買い物	準備など	買い物	買い物	晩ごはん	などをしています	
18:00	寝	色々	寝	筋トレ	ソサエティ		
19:00	晩ごはん	就寝	晩ごはん	晩ごはん	活動		
20:00	色々		色々	など	就寝		
21:00	就寝		就寝	就寝			
22:00							
23:00							